

所属校：岩見沢校 専攻：声楽専攻

学年：4年 氏名：山口まりな

ロシア留学を経て

平成26年9月から平成27年6月にかけて、ロシア・ノボシビルスクのノボシビルスク国立教育大学に留学しました。ロシアに旅立つ際、派遣先大学からの書類などはない状態でなにもわからないままロシアへと向かいました。ですが留学以前からのロシア人の友人がノボシビルスクにいたためあまり不安はありませんでした。札幌からノボシビルスクへは飛行機の乗り換え2回で向かい、ロシア国内で国内線乗り換えを行いましたが、ビザのトラブルで入国ができず、チェックインの際も成田空港でもらった書類のトラブルなど、初めから厳しいものとなりました。

ノボシビルスクでの生活は、3か月目までは苦難に満ちたものとなりました。ロシア語が話せず、またロシアで英語を話せる人が少なかったためコミュニケーションをとることができず、3か月間はとにかくひたすら勉強をしました。クラスメイトは皆中国人で、寮も外国人寮だったため、普段接していた人たちは中国人が多かったです。しかし中国人の

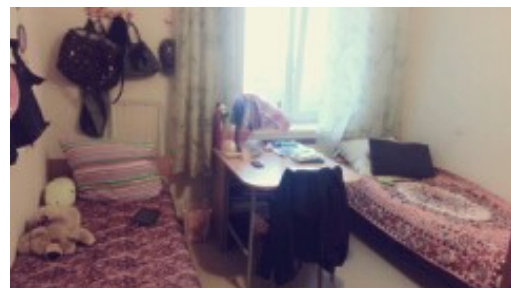


中国人クラスメイトと先生と新年の祝い↑

人たちも英語を話せる人はほとんどおらず、ロシア語を話せる人もあまりいなかったため、お互い意思の疎通を図ることが難しく、

初めのうちはなかなか交流することができずにいましたが、段々ロシア語を覚え、話せるようになり、また以前中国語を少し勉強していたので、ロシア語・英語・中国語を使いどうにか話しながら交流を深めていきました。中国人のクラスメイト達とはとても良い関係

となり、みんなで出かけたイベントを一緒に過ごすなど、楽しい共同生活を送りました。寮ではロシア人学生と2人部屋で、ロシア語の学習環境には非常に良いものでした。しかし当初私はロシア語を話すことができず、留学前は困ったときは英語で通じるだろうと軽く考えていました。しかし実際留学すると私のルームメイトは英語を話すことができず、また日本語専攻生と聞いていたため日本語が話せると思っていたのですが、日本語も話すことができなかつた



寮の自室↑

ため、意思の疎通がとても難しかったです。それはお互い思っていたと思います。はじめの頃は私たちの間に共通言語はなく、英語が話せる人がいる時は英語からロシア語に通訳してもらったり、寮で2人きりの時は身振り手振りでどうにか伝えようとしていました。

3か月目を過ぎた頃からはロシア語に変化が現れ、話すことができるようになっていきました。そのため今まで困難だったことができるようになっていたり、寮の管理人さんや授業を受け持ってくれていた先生、ルームメイトや友人たちと拙いながらロシア語で話し、行動範囲を広げていきました。日々の学校生活は行事に溢れ、課外授業やコンサート・美術館見学など様々なものがありました。中でも幼稚園や小学校の訪問はとても大変で、2、3か月に一度行われていましたが、大人の人のロシア語でも何を言っているかわからない私にとって、子どものロシア語は全く理解できず留学当初は苦勞しましたが、半年以降の訪問では子供たちと遊んだり、一緒に作業することが苦ではなくなっていました。

私が今回の留学で得たものは、ロシア語能力の向上はもちろんのこと、ロシアという国に対するイメージの変化、また困難を乗り越える力です。ロシアは先で述べたように、英語を話すことができる人とそうでない人の差が激しいです。実際に私のルームメイトやその他の友人たちの多くが英語を話すことができませんでした。空港もそうです。それは日本のように英語を勉強したことがあるけれど話せないのではなく、第2外国語として小中学生の時に学ぶ言語が英語ではないからです。日本のように英語を学ぶのが当たり前ではなく、ヨーロッパに近い地域性のためか、ドイツ語学校、フランス語学校など小学生から高校生までフランス語やドイツ語を学ぶ学校で勉強してきているため、人生の中で英語を勉強したことがない人が多く存在します。もし私がフランス語やドイツ語を話すことができたなら、初めの頃に言語面で苦勞することはなかったのかもしれませんが、しかし逆にロシア語で話すしかないというこの状況こそが私のロシア語能力を飛躍させる最高の環境であったのだと思います。もしルームメイトが英語を話すことができたなら、私のロシア語は間違いなく上達することはなかったと思います。またあんなに必死にロシア語を勉強することもなかったでしょう。留学中、私は同じ時期に



幼稚園訪問↑



私・ルームメイト・友人↑

フィンランドに留学していた飯田さんのもとを訪れ、そこから周辺ヨーロッパに一人で旅行に行っていました。フィンランドは国民のほとんどが英語を話すことができ、お店でも全く苦勞することがありませんでしたが、ロシアで私は3か月目までスーパーでお肉を1人で買うことができませんでした。ロシアは多くの食品が量り売りなのですが、お肉屋さんの店員さんに欲しい分だけ欲しいものを伝えることができなかつたのです。

これだけ聞くと私のロシアでも体験は大変なことだらけだったように感じてしまうかもしれませんが、そんなことはありません。もちろん大変なことも数多くあり、いろんな方たちにご迷惑をおかけしたり、自分自身つらかったこともあります。しかしロシアは日本人が思っている以上に日本に対して大変興味があり、親日的で日本に行くことを夢見て勉強している人たちがたくさんいます。それを知り、ロシアに対するイメージが変わり、またロシアの魅力を知ること



日本語勉強機関・パーティー↑

ことができました。ロシアは本場の芸術の国です。バレエやオペラが日本よりも安く、質の良いものを手軽に見ることができます。私も留学中多い時には月に5回、少ない時でも月に2回は劇場に訪れていました。こうした本場ロシアの芸術に触れることができる素晴らしい環境でした。この留学で得たものは多く、充実した1年間であったと思います。

最後にこれから留学を考えている方、またこれから留学される方へお伝えできることは、不安を持たず、とにかく留学してみたいと思います。留学が初めての海外となる方は不安に思うこともたくさんあると思います。実際に旅行と住むとでは大きな違いがあります。もちろん苦勞することも多いです。日本では考えられないようなことや、言葉が通じなくてどうしようもないこともあると思います。また1年間も海外で生活できるのかという不安もあると思います。しかし初めの1か月暮らすことができたなら、もう何も不安に思うことはありません。はじめの1か月生活すれば1年間途中で日本に戻ってしまう心配はなく、1年間の交換留学を全うすることができると思います。また英語圏以外に留学される方も、初めは何も話せなかつたとしても3か月目くらいから言語能力は上昇し始めます。短期留学で3か月というものがあり、生活に慣れたくらいに日本に帰国してしまうという体験談などをよく耳にしますが、まさにその通りだと思います。言語面でも心配せず、積極的に海外に飛び出してほしいと思います。考えられないような困難も、必ず解決します。そしてその困難を解決したとき日本では得られないような力が必ず得られると思います。また日本では体験できないような楽しさが留学にはあります。ぜひ留学を考えている方、積極的に留学を考えて欲しいと思います。